

慣用句(中級)プリント

月

日

名前

問1 「猫の額」を正しく使っている文はどれですか？

1. 猫の額をなでて、かわいがってあげた。
2. 猫の額ほどの庭に、小さな花壇を作った。
3. 猫の額が広くて、とても立派な家だ。
4. 部屋が猫の額のように散らかっている。

問2 「頭を悩ます」を正しく使っている文はどれですか？

1. 彼は頭を悩ますほど、とても賢い人だ。
2. 難しい数学の問題に、彼は頭を悩ませている。
3. 重い荷物を運んで頭を悩ます。
4. 頭を悩ますと、髪の毛が抜けてしまう。

問3 先生は熱心な生徒に()をかける。()に入る言葉はどれですか？

1. 目
2. 耳
3. 手
4. 足

問4 「琴線に触れる」を正しく使っている文はどれですか？

1. その美しい音楽は、私の琴線に触れた。
2. 先生の琴線に触れて、ひどく怒られた。
3. 琴線に触れて、古い琴を修理に出した。
4. 琴線に触れて、楽器の弦が切れてしまった。

問5 「胸が騒ぐ」を正しく使っている文はどれですか？

1. 胸が騒ぐので病院で検査を受けた。
2. コンサート会場で音楽が鳴り響き胸が騒ぐ。
3. 暗い夜道で後ろから足音がして胸が騒ぐ。
4. 胸が騒ぐほど激しい運動をした。

問6 「上の空」を正しく使っている文はどれですか？

1. 高い上の空から地上を見下ろすと怖くなった。
2. 屋上の空を見上げると、とても天気良かった。
3. 上の空の雲を眺めて、のんびりと休日を過ごした。
4. 考え事をしていたせいで、授業中は上の空だった。

問7 プレゼントが届くのを()を長くして待っている。()に入る言葉はどれですか？

1. 指
2. 首
3. 腕
4. 腰

問8 「頭を冷やす」の意味はどれですか？

1. 嫌なことを忘れて眠る
2. 興奮を鎮めて冷静になる
3. 氷枕で熱を下げる
4. 頭を氷水で洗う

問9 この子は小さいころから()がかかる子だった。()に入る言葉はどれですか？

1. 足
2. 手
3. 目
4. 口

問10 「鼻っ柱が強い」の意味はどれですか？

1. 鼻が高くて見た目が立派である
2. においに非常に敏感である
3. 気が強く、自分の意見を曲げない
4. 他人の意見にすぐ流される

問11 「手に余る」の意味はどれですか？

1. 自分の力で何とか解決できる
2. 自分の仕事が多すぎて忙しい
3. 自分の持っている物があふれる
4. 自分の力では処理しきれない

問12 「気をもむ」の意味はどれですか？

1. 相手の気持ちを確かめようとする
2. 自分の思い通りにならず腹を立てる
3. あれこれと考えると迷い続ける
4. 結果がどうなるか心配して落ち着かない

問13 「鼻を明かす」を正しく使っている文はどれですか？

1. 暗い夜道で懐中電灯を使い、鼻を明かした。
2. 鼻を明かして、においを確かめた。
3. 強敵を倒して、ついに鼻を明かした。
4. 鏡を見て自分の鼻を明かした。

問14 「手に負えない」を正しく使っている文はどれですか？

1. 重い荷物を運ぶのは、手に負えないので助けて。
2. 手に負えないので、両手でしっかりと抱きしめた。
3. あまりに暴れる子犬は、もう手に負えない。
4. 手に負えないほど、たくさんの宿題が出た。

問15 彼は合格するために裏で()を回していた。()に入る言葉はどれですか？

1. 腰
2. 手
3. 足
4. 首

問16 「襟を正す」を正しく使っている文はどれですか？

1. シャツの襟を正してアイロンをかける。
2. 襟を正して、服の汚れを落とした。
3. 襟を正して、首元を温かくする。
4. 厳粛な式典を前にして、襟を正す。

問17 彼の自慢話には()持ちならない。()に入る言葉はどれですか？

1. 目
2. 口
3. 鼻
4. 耳

答え合わせ・解説

問1	答え 2 猫の額ほどの庭に、小さな花壇を作った。	「猫の額」の正しい使い方は「猫の額ほどの庭に、小さな花壇を作った。」です。意味は「土地や場所が非常に狭いことのとえ」です。
問2	答え 2 難しい数学の問題に、彼は頭を悩ませている。	「頭を悩ます」の正しい使い方は「難しい数学の問題に、彼は頭を悩ませている。」です。意味は「ある問題について、どうすればよいかと思ひ苦しむ」です。
問3	答え 1 目	「目をかける」の「目」の部分が入ります。意味は「気にかけてかわいがり、世話をすること」です。
問4	答え 1 その美しい音楽は、私の琴線に触れた。	「琴線に触れる」の正しい使い方は「その美しい音楽は、私の琴線に触れた。」です。意味は「良いものや感動的なものに触れて心が動かされる」です。
問5	答え 3 暗い夜道で後ろから足音がして胸が騒ぐ。	「胸が騒ぐ」の正しい使い方は「暗い夜道で後ろから足音がして胸が騒ぐ。」です。意味は「悪い予感がして落ち着かない」です。
問6	答え 4 考え事をしていたせいで、授業中は上の空だった。	「上の空」の正しい使い方は「考え事をしていたせいで、授業中は上の空だった。」です。意味は「他のことに心が奪われていて、注意が集中していない状態」です。
問7	答え 2 首	「首を長くする」の「首」の部分が入ります。意味は「期待して待ちわびる」です。
問8	答え 2 興奮を鎮めて冷静になる	「頭を冷やす」は「興奮を鎮めて冷静になる」という意味です。
問9	答え 2 手	「手がかかる」の「手」の部分が入ります。意味は「世話や処理に手間や時間がかかる」です。
問10	答え 3 気が強く、自分の意見を曲げない	「鼻っ柱が強い」は「気が強く、自分の意見を曲げない」という意味です。
問11	答え 4 自分の力では処理しきれない	「手に余る」は「自分の力では処理しきれない」という意味です。
問12	答え 4 結果がどうなるか心配して落ち着かない	「気をもむ」は「結果がどうなるか心配して落ち着かない」という意味です。
問13	答え 3 強敵を倒して、ついに鼻を明かした。	「鼻を明かす」の正しい使い方は「強敵を倒して、ついに鼻を明かした。」です。意味は「相手を出し抜いて、あっと言わせる」です。
問14	答え 3 あまりに暴れる子犬は、もう手に負えない。	「手に負えない」の正しい使い方は「あまりに暴れる子犬は、もう手に負えない。」です。意味は「相手の勢いや性質が強すぎて、どうにも処理できない」です。
問15	答え 2 手	「手を回す」の「手」の部分が入ります。意味は「目的を達成するために、あらかじめ準備や工作をする」です。
問16	答え 4 厳粛な式典を前にして、襟を正す。	「襟を正す」の正しい使い方は「厳粛な式典を前にして、襟を正す。」です。意味は「気持ちを引き締めて真剣な態度になる」です。
問17	答え 3 鼻	「鼻持ちならない」の「鼻」の部分が入ります。意味は「相手の言動が自慢たらしく、我慢できないこと」です。